

INOX INFO BOX

Vol.30

今が旬のおすすめ情報をいち早くお届けします

■【9月は防災月間】大雨に対する企業の安全対策

大雨対応チェックリストはこちら



地震より軽視されがちな大雨対策。甚大化する災害に今するべき事は...



地震防災や津波防災など、9月から10月は災害対策について認識を深める機会が多くなります。最近の大雨や津波警報による真夏の避難に関しては、問題点が顕在化したばかりです。3.11以降の地震対策に加えて、近年の水害の甚大化もあり、企業に求められる災害対策も多様化しています。今回は台風シーズンに合わせて大雨対策について考えてみたいと思います。

6年前の台風では13人が勤務中・通勤中に死亡した例も

関東地方に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風では死亡した約100人の内、13人が勤務中や通勤中、17人が車両移動中、といったデータが示す通り、仕事に被害に遭う可能性は低くありません。地震と比べて大雨対策は後回しになりがちですが、業務中や通勤中の人的・物的被害リスクは無数に存在しており、他人事ではありません。

休日中の悪化も前提に、事前のルール化と情報収集を

休日中に台風の進路が変わり月曜日に直撃するケースもあります。計画休業の意思決定のルール、休日や夜間の社員への伝達方法、テレワークへのシフト、お客様への休業発信手段も事前に準備する必要があります。前日までに商品を高い場所に移すことも必要でしょう。また、それが実際に機能するか、シミュレーションも大切です。

事前準備のイメージ

3日前まで	2~1日前まで	接近
<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップの確認 避難場所の確認 備蓄品の確認 設備不備の確認 計画休業の手順確認 社員連絡網の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 計画運休の確認 風雨対策 商品の場所移動 計画休業の判断・連絡 	<ul style="list-style-type: none"> 状況悪化前に終業 帰宅困難者の待機

最新情報を絶えず確認

都市部でも起こりうる水害、正常性バイアスは禁物

ビルのポンプ室が水没してトイレが使えない、強風による電車の運休、アンダーパスでの社用車の水没など、都市部での被害も多く、人手不足の昨今は復旧に時間が掛かるケースも予想されます。備蓄品の確認、商品の移動、アンダーパスの迂回ルート、地下駐車場からの車の退避など、皆さまの会社に合わせた実効性が高い対策もポイントです。

Action! 大雨・台風へのチェック項目例

<p>備蓄品</p> <p>保存水、レトルト粥 缶詰（果物・魚など） 紙皿・割り箸・コップ 簡易トイレ、消毒液 ウェットティッシュ 汗拭きシート ティッシュ、ゴミ袋 アルミシート、カイロ 現金（個人で）など</p>	<p>情報確認</p> <p>会社の防災マニュアル ハザードマップ 避難所の位置 アンダーパスの場所 ビル管理会社の連絡先 緊急時の連絡網 計画運休の有無 など</p>	<p>事故回避</p> <p>看板などのゆりみ確認 窓のがたつき確認 社用車の浸水リスク 商品置き場の変更 など</p>
<p>保全関係</p> <p>発電機・充電器 止水板・土のう 懐中電灯・作業灯 データのバックアップ</p>		

バッテリー式作業灯など、お役に立てる製品を取り扱っています

東栄株式会社では、新製品やおすすめ製品の情報、各種ご案内などをブログでもお知らせしています。ぜひご覧ください。



また、SNSではゆるい話題もつぶやいています。フォローバック、お約束します。皆さまのフォロー、お待ちしております。

■【注目される農業分野での活用】冷却水循環チラー

製品の詳細はこちら



リスク回避と効率化。ハウス栽培で進む、農業分野でのチラーの活用。



異常気象への対策、生産性や収益性の向上、病害虫によるロス削減など、様々なリスク回避と効率化の点からビニールハウス栽培が増加傾向にあります。一方、温暖化によるハウス内の温度上昇により水耕栽培の養液温度が上昇し、様々な問題に直面するケースも増加しています。その解決策としてチラーを活用する動きが広がっており、チラーの新たな市場として注目されています。

安定した農業経営に欠かせないハウス栽培のメリット

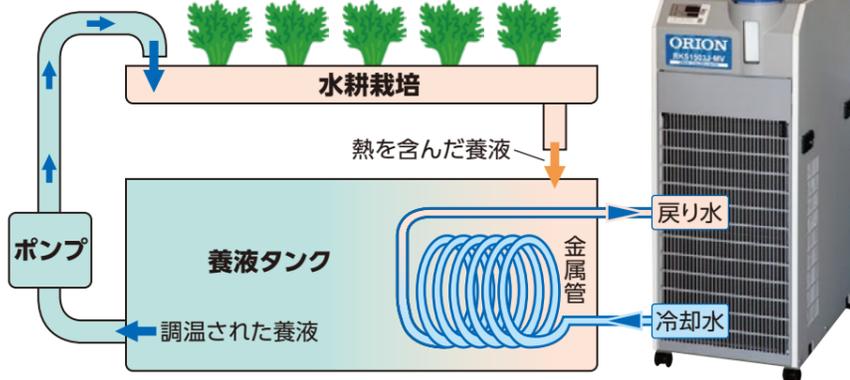
第一のメリットは、自然災害のリスク回避です。近年増加している大雨・台風・天候不順による被害、それらに対応する体力的・精神的疲労など、農業従事者への負担軽減が期待できます。次に、冬でも暖かい時期の作物を収穫できるため売価を高く設定できること、さらに、病害虫による被害も抑えられるなど、効率面・収益面でのメリットが挙げられます。

ハウス内の水耕栽培で注目されるチラーでの養液管理

一方、近年の温暖化によるハウス内の温度上昇に伴い、水耕栽培の養液温度も上昇しており、工業分野で利用されてきたチラーを利用した養液の調温が注目されています。養液の温度上昇は液中の酸素量の低下や雑菌の繁殖を招きます。本格的な法人参入によるハウスの大型化・機械化もありチラーの需要はまだまだ拡大が見込まれます。

※養液：肥料を水に溶かした培養液

チラーを利用した養液冷却例



養液をチラーで直接冷却すると故障や雑菌繁殖のリスクがあるため、一般的には冷却水を循環させた金属管で熱交換を行います。チラーには本体内に水槽を持つタイプと持たない(別途水槽を設置する)タイプがあります。

カタログ希望・お見積り・ご用命は弊社営業担当者までお気軽に。

東栄からの夕メになるかもしれない良知識

9月「9月は嵐のシーズン? 世界の“暴風雨”を調べてみた!」

- 台風シーズン到来、9月の日本は「防災意識」を高める期間です。台風が最も多く「防災の日(9/1)」もある9月。災害への備えや報道が増え、非常食や防災グッズが注目されます。全国各地で避難訓練も開催。
 - 嵐と共に生きる人々。世界の“台風・ハリケーン事情”
 - フィリピン:「バギオ(台風)」と呼ばれ1日中バケツをひっくり返したような大雨が続くことも。学校や職場が休みになることは日常茶飯事。住民は復興力に優れ、助け合いの精神が社会に根付いています。
 - バングラデシュ:自然災害が多いこの国、9月はサイクロンによる被害が増え、高潮や洪水も深刻。国際的な支援やNGOの活動が求められます。伝統的な高床式家屋は「知恵の防災」として注目。
- 台風・ハリケーン・サイクロン、名前は違えど各国ごとに備え・助け合い・防災文化の重要性を再確認する9月は、まさに世界の防災の月ですね。

10月「ハロウィンの主役、世界の“お化け・妖怪文化”を調べてみた!」

- 幽霊?妖怪? 現代は恐怖よりも漫画やアニメでポップカルチャーに日本のお化けといば幽霊、白装束に足のない姿は歌舞伎や怪談で浸透。妖怪の河童や天狗、座敷童子など、キャラクターとして世界でも人気に。
- 死生観を映す!? お化けから見る世界の文化と信仰の違い
- アイルランド:ハロウィン発祥の地とされるアイルランドの古代ケルトの「サウイン祭」。妖精と幽霊が混じり合う伝承が豊富。祭の夜には死者の霊が現れると信じられ、攫われないように変装してお化けに。
- メキシコ:幽霊「ラ・ヨローナ(泣く女)」が有名。死者そのものは毎年帰ってくる家族という信仰。「死者の日」は墓地で色彩豊かに音楽やダンスを楽しみ、恐怖より「共に過ごす」ポジティブで陽気な死者観。ハロウィンは「死者を迎える」ケルト文化から始まり、国ごとに独特な形で定着。お化けや幽霊もその国様々の歴史や伝承を伝えているのですね。



毎回だれかに3,000円
amazonギフト券プレゼント

ご応募は
pdf版は対象外です



発行

Since 1964

INOX 東栄株式会社



東京 TEL:03(5623)5681
大阪 TEL:06(6908)4021
名古屋 TEL:052(291)4782